

平成 27 年度第 33 回東洋庭園文化研修会のご案内

～前橋・高崎の庭園を訪ねて～

今回の東洋庭園文化研修会は、新緑の 4 月、群馬県の前橋と高崎の庭園を巡ります。前橋では、前橋公園の「日本庭園」及び、「臨江閣」等を巡ります。「臨江閣」は迎賓館として使用され、大河ドラマ「花燃ゆ」小田村伊之助（後の初代群馬県令榎取素彦）が提案、中心となって建てられたものです。高崎では剣豪堀部安兵衛が作庭したといわれている「旧下田邸書院及び庭園」と、日本の建築家に大きな影響を与えたモダニズム建築家、アントニン・レーモンド氏の建築スタイルを取り入れた「旧井上邸及び庭園」を巡り、北関東における歴史的なまちを名庭園とともに訪ねましょう。

記

- 1 日 時 平成 27 年 4 月 24 日（金）
- 2 集合場所 ①池袋駅西口東京芸術劇場西側道路 8:30 までに集合（貸切バス利用）
②高崎駅西口 10:20 集合・出発（高崎から参加の方）
- 3 行 程 池袋駅西口出発 8:30 ⇒ 高崎駅西口出発 10:20 ⇒ 群馬県庁展望階 ⇒ 日本庭園内建物にて庭園の説明 ⇒（昼食）⇒ 庭園見学 ⇒ 臨江閣 ⇒ 旧下田邸書院及び庭園 ⇒ 旧井上邸及び庭園（高崎市立美術館）⇒ 一部解散 16:30 ⇒ 池袋西口着 18:30 解散
- 4 参加費 ①一人当たり 9,500 円（バス料金、資料代等含む、） 同伴者一人当たり 3,500 円
②高崎駅から参加の方は、一人当たり 6,000 円、同伴者一人当たり 2,000 円
（※注：「同伴者」はご家族に限ります）
- 5 申込方法 (1) 下段の申込書に必要事項を記入し必要な参加費をお振込みのうえ、郵送、又は FAX で 4 月 10 日までにお申込み下さい。
(2) 当協会ホームページの研修会案内を印刷し、上記と同じ方法でお申込み下さい。
振込先 郵便 00150-9-41915
銀行 りそな銀行赤坂支店 普通預金 0353472
口座名 (財)日本造園修景協会（いずれも同じ）
郵送先 〒103-0004 東京都中央区東日本橋 3-3-7 近江会館ビル 8 階
(一財)日本造園修景協会あて FAX 03-3662-8268 / TEL 03-5645-5730
- 6 定 員 40 名（先着順）
- ※ 池袋駅西口から参加する人数が 25 人未満の場合、高崎駅に集合して実施、又は中止することがあります。
- 7 その他 この研修会は、造園 CPD ポイント登録の対象で、4.5 を見込んでいます。

主 催 (一財)日本造園修景協会（仮称・日本造園家協会）
共 催 (一財)日本造園修景協会 群馬県支部、(一財)日本造園修景協会 東京都支部
後 援(予定) (公社)日本造園学会、(一財)公園財団、(一社)日本公園緑地協会、
(一社)日本造園建設業協会、(一社)ランドスケープコンサルタンツ協会

申 込 書 第 33 回東洋庭園文化研修会に（ 池袋 ・ 高崎 ）から参加を申し込みます。

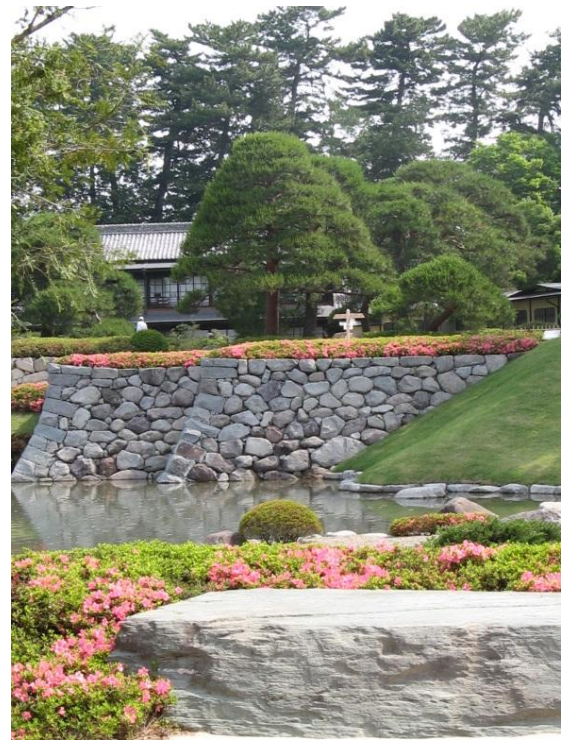
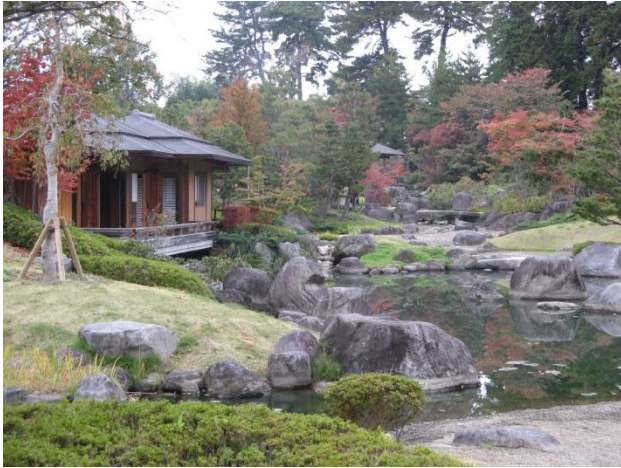
※↑どちらかを○で囲んでください

(フリガナ) お 名 前	ご連絡先住所・電話番号 (勤務先にご連絡される方は会社名・所属等を記入して下さい)	通 信 欄 (例；要・請求書・領収書、CPD 番号等)
	〒 TEL	CPD 番号
	〒 TEL	CPD 番号

前橋公園日本庭園

池の左は、庭園の添景を兼ねた数奇屋建築です。
当日は許可を得なければ入れない建物内で庭園の説明を受けます。

右写真の高台奥が臨江閣本館です。



臨江閣

臨江閣は、明治17年に寄付により本館と茶室が建てられ、当時の迎賓館として使用されました。(群馬県指定重要文化財)

後に、別館が明治43年に造られ、戦後は市役所庁舎、中央公民館として使われておりました。

本館玄関(右)



茶室に至る露地(下・左)、本館客間に続く庭(下・右)、庭の遣り水は、建物後方にある風呂川の高低差を利用して導水していたが、今は、井戸水を使用している。

